

明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会 第1回 地域活性化検討専門部会
議事要旨

- 1 開催日時：平成29年8月3日（木）15:00～16:15
- 2 開催場所：明治大学黒川農場 1-A 会議室
- 3 出席者：[座長] 藤原特任教授
[部会員] 熊澤（正）委員、坂本委員、川端（浩）委員、川端（孝）委員、
熊澤（明）委員、島野委員、川口委員、古山委員、地引委員、遠
藤委員、田島委員、井野委員
[事務局] 川崎市麻生区まちづくり推進部企画課 安藤、福島、鈴木
コンサルタント（株）UR リンケージ 遠藤、牧野、寺西

4 議事

<主な意見>

- (1) サイン・散策マップの検討・試行について
 - ①昨年度と同様に和光大学の協力のもと推進することとする。
- (2) 里山景観づくりの検討・試行について
 - ①現在、ハス、ヒマワリやコスモスを植えている農地がある。農家がそれぞれの発想で、好きな花を沿道に植えられるとよい。
 - ②そのような花の景観づくりをしていることをPRするため、ホームページでも、どんな花が黒川で見られるのかを紹介できるのでは。
 - ③今後、花が見られる箇所を散策ルートなどに設定できるとよい。
- (3) グリーンツーリズム（トマト&ブルーベリーの収穫体験）
 - ①非常に好評だった。現在、収穫した野菜を使った料理の写真をSNSにアップしてもらったり、アンケートを回収・集計しているところである。
 - ②かわさきイベントアプリを紹介したところ、皆さんに興味を持ってもらった。
 - ③欠席率が高いので、募集時に定員より多めに受け入れてはどうか。
 - ④時期にもよるが、もっと多くの人を受け入れることは可能なので、検討する。
- (4) グリーンツーリズム（ジャガイモの収穫体験の検討）
 - ①地元の方の負担が少ない形で実現できるとよい。
 - ②小田急電鉄の収穫イベントにあわせて、ジャガイモではなく、ダイコンに変更して実施できないか。
 - ③農産物等研究専門部会の小清水先生の専門性を生かして、一般家庭で楽しめる加

工品づくりをグリーンツーリズムの一環として実施できるとよい。

- ④ぜひ専門部会のコラボレーションとして実施したい。ダイコンをつかったピクルス作りなどもできるとよい。
- ⑤ピクルス作りの会場は明大黒川農場の施設を使って構わない。
- ⑥参加者の実費負担も検討する。

(5) 菜の花プロジェクト

- ①昨年度と同様に市民団体が主体に推進することとする。
- ②来年度以降、黒川農場内の畑を提供することが難しい可能性がある。

(6) 里山アート制作と展示

- ①今年度で3回目となるが、これまで特に困ったことや課題はない。
- ②学生のアイデアを早めにだしてもらい、早めに地元の方にあいさつできるようにする。

(7) その他（明治大学黒川農場収穫祭）

- ①黒川地域では、協議会の取り組み以外にも、小田急電鉄と連携した取り組みやジャガイモの収穫、汁守神社の初詣やどんと焼きなどの地域の催しもあるので、収穫祭では、協議会の取り組みだけでなく、黒川地域での取り組みを広く紹介できるとよい。
- ②各部会を担当している部署から、情報を提供してもらって作れるとよい。

<閉会>

- ・非常に建設的な意見交換ができた。本部会は地域活性化検討専門部会なので、地域が活性化する様々な取り組みを実施していけるとよい。

以上